

株式会社どすこい
 児童発達支援・放課後等デイサービス 支援プログラム
 A-6 森の探検

- 「一人一人にそれぞれのフツウ」
- 自分で感じ・考え・選び・決める・行動する
- 視覚的・具体的・肯定的なコミュニケーション

取組み	①健康・生活	②運動・感覚	③認知・行動	④言語・コミュニケーション	⑤人間関係・社会性	家族支援	地域支援
参加者募集				■探検を希望する子どもたちが、一緒に行く仲間を募集する。		■オープンフィールドのメニューに組み入れ、ご家族と一緒に森を探検する。	■地主さんとの契約、地域のご理解があって、探検が可能となっていることを確認する。■探検ルートでは、子どもたちが「自分たちがやりたいことなら何でも許される」わけではないことを確認する。■万一、契約に違反したり、地域に損害を与えるようなことをした場合は、フィールドとしてお借りすることも活動を続けることも出来なくなることも確認する。■地主さん、地域のみなさんへの感謝を忘れず活動を続けていくことも共有する。
チームの組織	■探検チームメンバーの体調チェック。		■安全に探検し、帰還するための、役割、ルート、装備について考える。	■役割、ルート、装備についての考えを言葉で他者に伝える。■他者の意見を聴く。	■チームのうち、最も小さい・弱い・遅いメンバーが安全に帰還することを最優先課題とする。■自分の意見と異なる意見が出た場合、話し合っ決めて決める。■役割、ルート、装備を決定する。		
装備の調達	■アナフィラキシーのメンバーがいる場合はエビペン携行の確認。■水分携行の確認。■熱中症・低体温に対する備えの確認。		■決定した装備を調達する。				
探検	■ハチ・イラガに刺される、マダニ・ムカデに咬まれる、チャドクガ・ハゼにかぶれるなどが発生した場合はすぐにスタッフに助けを求め、(⇒探検中止)	■不整地・斜面の上り下りが続くので、姿勢・体勢の保持。■列になった場合は前後と距離を保つ。■水分補給は「喉が乾く前」に。こまめに少量ずつ。■暑さ寒さに応じて自分で服を着脱し、熱中症・低体温にならないよう自己管理する。■適宜、休憩をとる。■五感を通じて、季節の変化、命の躍動を体感する。		■決められたルートはなく、道もない場所を移動するため、危険を回避し、安全なルートを選択する。■各自が自分の考えを言葉で他者に伝える。■他者の意見を聴く。	■ルート選択、休憩・食事のタイミング、については、適宜メンバーからリーダーに提案する。意見が食い違う場合は、上記最優先課題に則り、話し合っ決めて決定する。		
ミーティング (振り返り・記録)	■帰着後、体調確認。		■個々に、探検で気付いたこと・発見したこと・感動したことなどを振り返る。■これらを言葉にして他者に伝える。■他者の発言を聴く。	■個々の振り返りの共有。■危険箇所・休憩に適した場所・排泄可能な場所・秘密基地を作りたい場所・泊りたい場所・焚火をしたい場所・美しい場所・楽しい場所・生き物がある場所などをフィールドマップに書き加える。■その他今後の探検に資する情報は、毎回「探検記録」に書き残す。		■ご家族にもミーティングに参加していただく。■ご家族からの感想やご意見を聴く。	

